

ひつつき虫

松江の花図鑑Top > 花図鑑目次 > ひつつき虫

利益が上がる

コダマコーポレーション

もっと見

ひつつき虫の仲間を集めてみました。

ひつつき虫とは、果実の表面に刺などがあり、動物の毛や洋服にひつついで運ばれる果実のことをいいます。果実の運ばれ方は、植物自身の動き(自動散布)・風(風散布)・水(水散布)・動物(動物散布)の4つに分けられています。

参考サイト 福岡教育大学 福原のページ (植物形態学・分類学など) の [動物付着散布](#)

画像はクリックすると大きくなります。

名前	花	果実	説明
アメリカセンダングサ			そう果は扁平で先端の2本の冠毛に逆刺がある。
コセンダングサ			そう果は4稜があり、先端の3~4本の冠毛に逆刺がある。
センダングサ			そう果は4稜があり、先端の3~4本の冠毛に逆刺がある。
コシロノセンダングサ			先端の2~4本の冠毛に逆刺がある。

			
アイノコセンダングサ			先端の2~4本の冠毛に逆刺がある。
タウコギ			そう果は扁平で先端の2本の冠毛に逆刺がある。
コメナモミ			総苞片の腺毛から粘液を出し、粘りつく。
ヤブジラミ			果実は刺状の毛が密生し、先端はカギ状に曲がる。
オヤブジラミ			果実は刺状の毛が密生し、先端はカギ状に曲がる。
ウマノミツバ			果実は刺状の毛が密生し、先端はカギ状に曲がる。

オオナモミ			果包の表面に先端が曲がった刺が密に生える。
ノブキ			果実の腺毛から粘液を出す。
ナガバハエドクソウ			萼には3個の刺がある。
ヌスピトハギ			果実の表面にかぎ状の毛が密生。
ヤブハギ			果実の表面にかぎ状の毛が密生。
ケヤブハギ			果実の表面にかぎ状の毛が密生。

			
フジカンゾウ			果実の表面にかぎ状の毛が密生。
アレチヌスピトハギ			果実の表面にかぎ状の毛が密生。
ヒナタイノコヅチ			果実の根元に刺状の苞がある。
ヒカゲイノコヅチ			果実の根元に刺状の苞がある。
キンミズヒキ			果実にはかぎ形の刺がある。
ヒメキンミズヒキ			果実にはかぎ形の刺がある。

ミズヒキ			花柱の先が、かぎ型に曲がる。
シンミズヒキ			花柱の先が、かぎ型に曲がる。
ヤエムグラ			果実は力ギ形の毛がある。
ミズタマソウ			果実は力ギ形の毛がある。
ウマゴヤシ			果実は先の曲がった刺がある。
オカダイコン			冠毛はこん棒状で、粘液を出す。

			
コチヂミザサ			実が稔ると小穂の長い芒が粘る。
ケチヂミザサ			実が稔ると小穂の長い芒が粘る。
チカラシバ			小穂基部の長い毛が絡まる。
ササクサ			小穂には刺のある芒がある。
ガンクビソウ			果実の先端に粘液がある。
サジガンクビソウ			果実の先端に粘液がある。

			
ヒメガンクビソウ			果実の先端に粘液がある。
ヤブタバコ			果実の先端に粘液がある。
コヤブタバコ			果実の先端に粘液がある。

毎月更新 エンプラ業界最新情報

【完全無料】専門のリサーチャーがエンプラ海外化学業界および技術動向情報を毎月ピックアップ

旭化成株式会社

もっと見る

<花図鑑へ>